

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 10 No.11 2008年6月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2008 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

アエスラ、Web 会議とテレビ会議の融合を可能とするソリューションを発表

アエスラ社製品を専門に販売する ae コミュニケーションズ株式会社は、Web 会議とテレビ会議の融合を可能とするソリューション「aethra Desktop Server(アエスラ・デスクトップ・サーバ、ADS)」を発表。ae コミュニケーションズ株式会社は、VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)のアエスラ製品専門の子会社。

ADS は、アエスラ社の多地点接続サーバ「aethra MCU Plus(アエスラ・MCU・プラス)」に付属している Web 会議用ソフトウェア。ADS は、aethra MCU Plus と連動してテレビ会議システムと Web 会議システムがお互いに相互に接続できるようになる。

aethra MCU Plus は、多地点接続に必要な機能がセットになった 1U のコンパクトサイズの多地点接続サーバ。多地点接続、Web 会議用ソフトウェア、ゲートキーパー、会議予約システム、ネットワーク監視・管理ツールなどのマネージメント機能(AeDS server)が標準で搭載されている。

「Web 会議システムは独自規格のため、国際標準規格のテレビ会議システムと統合することは難しかった。会議室据え置き型のテレビ会議システムと汎用のパソコンをベースとした Web 会議システムがお互いに会議を行えることで、テレビ会議をもっと有効に活用したいと考えているユーザにとって非常にメリットが高いと思う。」(ae コミュニケーションズ株式会社 代表取締役 栢野正典氏)

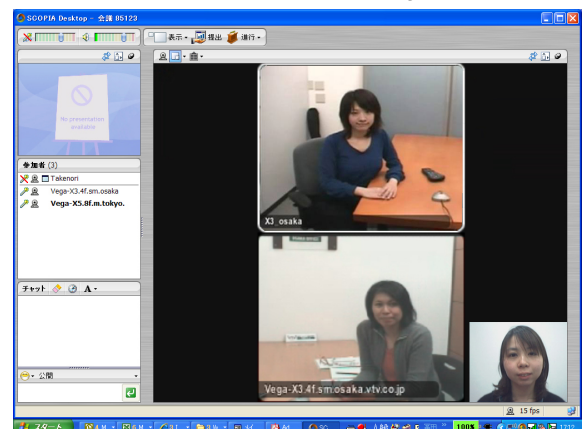
具体的にどういったケースにこのソリューションは有効か。「たとえば、社員一人ひとりのパソコンに Web 会議システムをインストールしておけば、全社員がいつでも必要な時に社内からでも外出先あるいはテレワークからもテレビ会議が行えたり、テレビ会議システムを所有していない取引先とも先方に負担を掛けずに臨時にテレビ会議を行ったりもできる便利さもある。

また、本社、支社にはテレビ会議システムがあっても、小規

模の営業所においてテレビ会議システムの導入がコスト的に難しい場合などに専用端末の代替としても有効な



多地点会議 - テレビ会議端末側 Vega X3



多地点会議 - PC側



PC側資料共有画面

ソリューションだ。テレビ会議専用端末と同様の機能をPCで使うことが可能」(ae コミュニケーションズ株式会社 営業部 橋本和幸氏)

aethra Desktop Server は、aethra MCU Plus に付属されるソフトウェアのためその MCU を導入することが前提になるが、導入後は、クライアントユーザは、USB カメラとヘッドセットを準備してパソコンにインストールするだけですぐに映像と音声を使った Web 会議が行える。またこのインストールは、初めて会議室に接続する際にソフトウェアのダウンロードが行われる仕組みになっている。このインストール処理は最初の一度だけで、インストールフリーのため端末台数は無制限だ。ただ、会議室に接続できる数は、aethra MCU Plus の容量による。たとえば、aethra MCU-24 Plus には、最大 48 台までの端末が接続できることになる。

さらに、aethra MCU Plus の機能を使ったストリーミング配信や H.239 に対応した資料共有も行える。ストリーミング配信については、aethra MCU-24 Plus であれば、最大 72 名までのユーザがテレビ会議の様子をリアルタイムあるいはオンデマンドで視聴できるようになる。

aethra MCU Plus については、最大 48 拠点タイプ(aethra MCU-24 Plus)と最大 24 拠点タイプ(aethra MCU-12 Plus)の 2 種類がある。H.323、SIP、またオプションで、H.320(ISDN)、3G324M(携帯テレビ電話)にも対応。帯域については1ポート当たり 128kbps から 2Mbps までサポート。解像度は、4CIF や HD(720p)などに対応。会議中の画面分割は最大 16 まで、レイアウトも 26 種類提供している。暗号化、パケットロス耐性機能「QualiVision(クオリビジョン)」、バーチャル MCU(複数 MCU をカスケードし連動させることで、あたかも1台の MCU として稼働させる機能)なども実装。

さらに、端末同士が異なった映像プロトコルや解像度、あるいは音声プロトコル、通信帯域をもって会議室に接続してきても、その違いを吸収(トランスコーディング)してお互いに接続させて多地点会議を行うことができる他、IP 環境だけでなく、ゲートウェイを経由した、一般電話、ISDN テレビ会議、携帯テレビ電話などもその多地点会議に接続が可能だ。

「aethra MCU は、ユーザフレンドリーなインターフェイスで簡単に使用できるだけでなく、システムとしてのキャパシティも高く、Web 会議システムを付属するなどさまざまなテレビ会議多地点のニーズに対応できるコストパフォーマンスの高いシステムだと自負している。」(同 橋本和幸氏)

今後は、アesslerのテレビ会議システム端末に内蔵された MCU に aethra Desktop Server の機能を付加していく考えだ。「aethra Desktop Server は、aethra MCU Plus に対応した Web 会議システムだが、今後は、端末内蔵 MCU にも対応していくことでテレビ会議と Web 会議の融合をより低コストでも実現できるようにしていく考えだ。そうすることで、テレビ会議の用途や参加できる範囲が格段に広がると思っている。」(同 栢野正典氏)

ライフサイズ社、100 万円を切る低価格を追求した HD ビデオ会議システム日本発売



LifeSize Express Focus モデル

ライフサイズ・コミュニケーションズ株式会社(東京都新宿区)は、固定フォーカス型の新 HD カメラ「LifeSize Focus(ライフサイズフォーカス)」を搭載した低価格の HD ビデオ会議システム「LifeSize Express Focus モデル(ライフサイズ・エクスプレス・フォーカス)」を発表した。価格は、948,000 円(税別)、6 月より販売開始。

日本では、ライフサイズ社の総販売代理店である株式会社日立ハイテクノロジーズ(東京都港区)が販売を担当する。

LifeSize Express Focus モデルは、2007 年 11 月に発売

した LifeSize Express の標準価格(114 万 8000 円、税別)をさらに下げた普及型としての位置づけだ。既存の製品である「LifeSize Room」、「LifeSize Team」、「LifeSize Express」には、自動フォーカス型のパンチルトズームがリモコン操作できるカメラが搭載されているが、今回カメラについて固定フォーカス型を LifeSize Express に搭載し、LifeSize Express Focus モデルとした。このため HD ビデオ会議システムの価格をさらに下げることができた。

LifeSize Focus の大きさや重さは、パソコンで使用できる Web カメラ程度だが、視野角は 70 度、毎秒 30 フレーム、720p(1280x720)の解像度を実現している。また特許を取得している2個のマイクをカメラ上部に内蔵している。

「LifeSize Focus のカメラは、大きさも重さも手のひらに乗る軽量サイズで、カメラにマイクを内蔵したことで配線ケーブルもシンプルになった。小規模から中規模の会議室においてカメラ能力としても集音能力としても十分な性能を持つ。またカメラが小型化したため、ビジネスバックなどで簡単に持ち運びができるようになった。電話のような簡単さでビデオ会議システムを利用してもらいたいと考えている。今後も当社は HD ビデオ会議システムのさらなる低価格化を実現していく考えだ。」(ライフサイズ・コミュニケーションズ)

NTT アイティ、PC を使用して簡単にテレビ会議 端末同士をインターネット経由で接続するソ リューションを発売

NTT アイティ株式会社(神奈川県横浜市)は、企業イントラネットにあるテレビ会議システム端末が、ファイアウォールを越えてインターネットを経由し、別のイントラネットにあるテレビ会議システム端末に接続することを可能にする製品「MeetingPlaza コネクタ」を開発した。USB メモリを使った同様な製品では世界初だという。

MeetingPlaza コネクタは、テレビ会議端末が送受信する映像と音声のパケットを、HTTP によりカプセル化し、トンネリング技術によってファイアウォール越えを実現するソリューション。

MeetingPlaza コネクタを使用して、ファイアウォール越え接続を行うためには、テレビ会議端末と同じネットワークに MeetingPlaza コネクタを挿した PC と、インターネット上に MeetingPlaza サーバが必要になる。通信は、MeetingPlaza

コネクタを中継して MeetingPlaza サーバに接続しお互いテレビ会議通信を行う形。つまり、各テレビ会議端末は、お互い MeetingPlaza の会議室に接続して会議を行うイメージだ。したがって、MeetingPlaza サーバからみれば、テレビ会議端末は、MeetingPlaza の Web 会議端末として接続処理をしていることになる。

MeetingPlaza 会議室には、1 会議室当たり最大 32 のテレビ会議端末が接続でき、同時に7端末まで同時に発言ができる。ただその際、MeetingPlaza コネクタは、ファイアウォールを越えて通信を行う必要のあるテレビ会議端末台数分必要になる。

また MeetingPlaza の Web 会議は、テレビ会議端末とはデータ共有はできないが、同じ会議室で映像と音声による混在会議は行える。その場合、MeetingPlaza の Web 会議側の参加者を表示するひとつひとつの画面にテレビ会議端末からの映像が表示され、一方テレビ会議端末側の画面には、多画面分割(CP)でその会議室の参加者が表示される。

MeetingPlaza コネクタは、通信方式に H.323、映像符号化方式は、H.261、画素数は、CIF(352x288)、音声符号化方式は、G.711。MeetingPlaza コネクタ経由でテレビ会議端末同士が接続する場合は、上記の各方式で接続することになる。

以下動作確認が済んでいるテレビ会議端末。これ以外の機種については今後確認予定とのこと。

ポリコム	VSX7000s, VSX8000, VSX7000e, VSX6000, VSX5000, VSX3000, V500, HDX9004, ViewStation MP
ソニー	PCS-1, PCS-G50, PCS-1600, PCS-TL30
タンバーク	Edge 95MXP, 880MXP, 6000MXP, 990MXP, 1000MXP, 1700MXP

価格については、サーバ導入タイプであると、(60+本数 X10)万円になる。たとえば、4 本だと 100 万円(税別、以下同じ)、8 本だと 140 万円、16 本だと 220 万円。ただし、これとは別にサーバライセンス料が 100 万円~かかる。

また、ASP サービスの場合は、初期費用が 2 万円、月額利用料が1万円かかるが、ASP 料金に加算される。

販売開始は、サーバ導入タイプだと6月10日に開始しているが、ASPサービスは、8月からの予定。初年度販売目標は、100本。

ブイキューブ、1万拠点の大規模配信が可能なライブ配信サービスを開始

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、インターネットライブ配信サービス「nice to meet you ビデオ Live!」を5月20日から提供開始した。

nice to meet you ビデオ Live!は、Flash形式の映像を1万拠点へ大規模ライブ配信が可能で、ソフトウェアのインストールやネットワークの設定も必要なく簡単にWeb上に動画を配信することができる。利用する企業は、カメラの前に立つだけで、あとはブイキューブのスタッフが配信開始から終了までサポートする。またオプションで、On2 VP6 エンコードのオプションも提供している。

nice to meet you ビデオ Live!は、ASPサービスあるいはスポット利用で提供されており、配信あたり27,300円(税込み)〜となっている。料金は契約形態、提供環境などによって異なる。

nice to meet you は、ブイキューブが提供するビジュアルコミュニケーションサービスの統合ブランド。ウェブテレビ会議システム「nice to meet you ミーティング」、ウェブセミナーシステム「nice to meet you セミナー」などがあるが、その統合ブランドのひとつに今回の新しいサービスは追加される。

NEC、NGNに対応したWeb会議ユビキタスデスクサービスの提供開始、今後はHD対応も視野に

日本電気株式会社(東京都港区、以下NEC)は、日本電信電話株式会社(東京都大手町、以下NTT)のNGNサービスに対応した商用サービス「ユビキタスデスクサービス」の販売を6月5日から開始した。

このシステムは、NTTのNGNサービス フレッツ光ネクストのテレビ電話機能を活用したWeb会議機能を提供するもの。従来のネットワーク上で提供されていたWeb会議システムは、混雑状況によって音声の途切れ、遅延、映像の乱れなどが起こっていたが、今回NECが開始するユビキタスデスクサービスでは、ブロードバンド広帯域及びQoSの補償によ

り、テレビ並(SD品質)の画質と音声品質によって安定したWeb会議を可能にすると同社では説明する。

ユビキタスデスクサービスは、昨年4月から12月にかけて、NTTが実施したNGNフィールドトライアルに参加して実証してきたもので、フレッツ光ネクストに対応しており、Web会議、会議資料共有、高品位映像配信の3つの機能から構成される。

今回は、Web会議機能を7月から提供開始し、今後NGNサービスの機能拡充にあわせて、会議資料共有、高品位映像配信の提供の他、Web会議、高品位映像配信においてHD品質への対応も行う予定。

ユビキタスデスクサービスのWeb会議システムは、今後3年間で約600セットの販売を見込んでいる。

業界ビジネス動向-国内 ポリコムジャパン、環境保護を目的とした全社的イニシアチブを展開

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、同社として二酸化炭素の排出量を削減し、環境保護を目指す「サステナビリティ・イニシアチブ」を発表した。

そのイニシアチブでは、ポリコムとして実施する3つの公約を掲げた。(1)ポリコムのソリューションで削減できる二酸化炭素排出量を示す。(2)環境に配慮した製品を開発する。(3)世界40カ国に拠点を置く売上10億USDの企業として、自社が環境で与える影響を最小限にする。

音声会議システムやビデオ会議、テレプレゼンスソリューションは、人の移動を削減することで出張コストの削減と生産性の向上を実現すると同時に環境に対する企業の責任も果たすことができるとポリコムは考えている。たとえば、東京と深圳(シンセン)間で会議を行う場合2名の参加者が出張する代わりにビデオ会議を使用すれば1回につき自動車1台が1年間に排出する量に相当する二酸化炭素の排出量を削減できると試算する。

またポリコムでは、研究開発において有害物質の使用を最小限にし、環境にやさしい製造工程を、製品の梱包から出荷流通まで採用してエネルギー効率の向上を行うことで環境に配慮した取り組みも行っている。

「ポリコムの製品は、電子、電気機器における特定有害物質の使用制限に関する規制をした欧州のRoHSや、電気

電子機器廃棄物の取扱に関する WEEE に準拠しており、製品寿命が長く長期間できるように設計されている。そのため投資保護の観点からユーザにとってメリットがある。」(ポリコムジャパン)

さらに、ポリコムでは、施設、業務、従業員のそれぞれがエネルギーの利用と日常生活において常に環境保護の強化に努めているという。同社の社員は、天然資源の保護とリサイクルを実践し、自社製品を活用することで、出張を最小限にすることを義務付けられている。たとえば、ビデオ会議を使った社内ミーティングをポリコム全世界で年間 97 万 5000 回以上行うことで出張を減らす他、在宅勤務や自家用車以外での通勤をするように取り組んでいる。世界各国のポリコムの従業員 2,544 人の 4 分の 1 が回答した最近の社内調査では、35%が在宅勤務、または通勤に自家用車以外の交通手段(公共交通網、自転車、徒歩など)をすでに利用しているという。

同社としては、ビジネスへの有効性だけでなく、環境保護への取り組みを含めた企業の社会責任においてもビデオ会議システムが役に立つということ今回のイニチアチブの実践を通して示していきたい考えだ。

導入事例

タンバーク、四川大地震の被災地に災害対策用ビデオ会議システムを寄贈



Tactical MXP を使用した救助活動

タンバーク社は、中国・四川大地震の救助活動を支援するため、中国政府当局へ災害対策用ビデオ会議システムとして、「Tactical MXP(タクティカル)」を無償提供した。Tactical MXP は、野外・現場向けの完全防水ケースに収納された一体型のビデオシステム。



Tactical MXP を使用した救助活動

今回中国交通運輸部の通信センターと中国地震ネットワークセンターへ寄贈された Tactical MXP は、中国地震レスキューコントロールセンターで使用しており、既に設置しているタンバーク社製ビデオ会議システムと相互に通信したりして、本部と被災現場の最前線で作業にあたっているスタッフたちとのリアルタイムのやりとりを実現し、地震の状況や災害の程度、救助活動の状況を的確に把握することを手助けしているという。

「ビデオ会議システムは、一般的な会議目的だけでなく、同時多発テロ、スマトラ沖地震、SARS などの災害・疫病発生時に緊急対策用として被災現場で数多く利用されている。」(日本タンバーク)

Tactical MXP は、そういった災害に備えて海外の政府機関や発電所などに常備され、日本でも報道機関より災害時の報道用として多くの引き合いを得ているという。

セミナー・展示会情報

Polycom Education Road Show

日時:6月18日(水)、19日(木)各日程の開催
13:30~17:20(13:15 受付開始)

場所:ポリコムジャパン株式会社 セミナールーム

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:

http://www.polycom.co.jp/event/education_roadshow/

*米国遠隔教育協会プレジデント Marci Powell 氏講演。

CSR(企業の社会的責任)にも貢献するテレビ会議の最新事情を初公開

日時:6月19日(木)14:00~(受付開始 13:30~)

会場:株式会社大塚商会 本社ビル 3F

(東京都千代田区飯田橋 2-18-4)

主催:株式会社大塚商会

協力:ポリコムジャパン株式会社/

日本タンバーク株式会社

内容・詳細:<http://event.otsuka-shokai.co.jp/08/0619bb/>

企業力強化のカギ！安心のリアルタイムコミュニケーションツールご紹介セミナー

日時:6月24日(火)14:00~16:30(受付開始13:30~)

会場:IBM 渋谷 ソフトウェア・コンピテンシー・センター (SWCOC)

主催:株式会社大塚商会、日本アイ・ビー・エム株式会社、ヤマハ株式会社

詳細・申込:

<http://www-06.ibm.com/jp/domino04/software/swevents/swevents.nsf/vwDocKey/>

Clovernet MeetingPlaza Web 会議サービスセミナー In 関西

日時:6月26日(木)15:00~17:30

場所:NEC ネクサソリューションズ

Walk In Solution Center 関西

(大阪府大阪市中央区城見一丁目3番7号)

松下IMPビル2階)

主催:NEC ネクサソリューションズ株式会社

協賛:NTT アイティ株式会社

詳細・申込:

<http://www.nec-nexs.com/news/seminar.html?id=576>

Clovernet MeetingPlaza Web 会議サービスセミナー In 中部

日時:6月26日(木)15:00~17:30

場所:NEC ネクサソリューションズ

ショールーム Walk In Solution Center 中部

(愛知県名古屋市中区錦1-17-1 NEC 中部ビル)

主催:NEC ネクサソリューションズ株式会社

協賛:NTT アイティ株式会社

詳細・申込:

<http://www.nec-nexs.com/news/seminar.html?id=577>

Clovernet MeetingPlaza Web 会議サービスセミナー In 東京

日時:6月26日(木)15:00~17:30

場所:NEC ネクサソリューションズ

ショールーム(東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル1階)

主催:NEC ネクサソリューションズ株式会社

協賛:NTT アイティ株式会社

詳細・申込:

<http://www.nec-nexs.com/news/seminar.html?id=578>

たった1年で100サーバ売れる競合優位性とは！？
【Web 会議】~ハイビジョン Web 会議システム「IC³」
を徹底解剖！~

日時:6月26日(木)15:30-17:10

会場:キヤノンソフト情報システム 東京支社

主催:キヤノンソフト情報システム株式会社

詳細・申込:

<http://www.canon-js.co.jp/seminar/detail.cfm?no=1084>

ZDNet Japan スペシャル

ZDNet Japan(<http://japan.zdnet.com/>)スペシャル「進化するテレビ会議」特集で、橋本もコラムを何回か書かせて頂きました。よろしければご覧いただければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

進化するテレビ会議

<http://japan.zdnet.com/sp/feature/visualcomm/>

- (15) 一会議システムはユーザーの発想と工夫で用途が広がる(6月5日)
- (14) 一会議システムの効果を生み出す最良の方法(5月29日)
- (13) 一マイクロソフト:ウェブ会議はもっと手軽でなければならない(5月27日)
- (12) 一ブイキューブ:セミナーやセールスなどに広がり見せるビジュアルコミュニケーション(5月20日)
- (11) 一ソニー:AVメーカーらしさを追求したビデオ会議システム(5月13日)
- (10) 一ウェブエックス:実務者の共同作業に適したウェブ会議(4月24日)
- (9) データ共有でメリット活かすウェブ会議システム(4月10日)
- (8) 導入しやすくなってきた会議システム(4月3日)
- (7) 単純には進まなかった会議システムのIP化(3月27日)
- (6) アエスラ:通信機器のノウハウ活かす会議システム(3月19日)
- (5) タンバーク:業務を革新させるビデオ会議システム(3月10日)
- (4) ポリコム:会議の質を変えるHD対応からテレプレゼンスへ(2月29日)
- (3) NTT アイティ:会議システムは業務改善ツール(2月21日)
- (2) ビジュアルコミュニケーションの歴史(2月14日)
- (1) ホウレンソウと遠隔会議システムの深い関係(2月7日)

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。
今回カバーできていないニュースがありますが、次号以降にて掲載致しますのでご了承ください。

CNAレポート・ジャパン 代表 橋本 啓介